

平成21年度第14回 公立大学法人熊本県立大学教育研究会議 議事録

日 時：平成22年3月5日（月）午前11時～11時30分

場 所：公立大学法人熊本県立大学大会議室

出席：学長	米澤 和彦
副学長	古賀 実
事務局長	富永 安昭
文学部長	三木 悦三
環境共生学部長	大和田 紘一
総合管理学部長	松岡 泰
地域連携センター長	篠原 亮太
学術情報メディアセンター長	山田 俊
文学研究科長	半藤 英明
熊本近代文学館館長	河原畑 廣
オブザーバー：環境共生学研究科長	有蘭 幸司
欠席：熊本県公立高等学校長会会長	石井 博憲
和洋女子大学学長	坂本 元子

事務局：三角事務局次長、井上学生サービス担当次長兼教務入試課長、馬場総務課長、高橋学生支援課長、田中学術総合メディアセンター事務長、教務入試課林田教務班長、教務入試課安達入試班長、教務入試課澤田参事

1 開会（進行：三角次長）

2 学長挨拶

3 議事（議長：米澤学長）

（1）審議事項

① 平成22年度入学者選抜における合格者の決定について

・大学院環境共生学研究科春季募集

事務局教務入試課から、大学院環境共生学研究科春季募集の平成22年度入学者選抜における合格者の決定について、資料1-1に基づき、「研究科は春季1回で募集3名となっている。当日は志願者4名全員が受験した。2月19日に環境共生学研究科委員会で判定結果を得た。」との報告があり、続いて、有蘭環境共生学研究科長から、資料1-2（会議後回収）に基づき、「一般選抜には3名が志願し受験した。3名とも合格とした。社会人特別選抜は1名が志願し受験した。資格審査を経て、プレゼン、口頭試問、

英語の試験を行い、合格基準を満たしており合格としたい。」との説明があった。

事務局から「大学院研究科については、定員 61 名に対し、合格者 60 名ということで、ほぼ定員充足の見込みである。」との補足説明があった。

・一般入試（前期日程）

事務局教務入試課から、一般入試（前期日程）について、資料 2-1 に基づき、「2 月 25 日に実施し、募集人員は全部で 203 名であった。追試を設定したが、当日まで申し出がなく実施しなかった。志願者 833 名、受験者 812 名で、本日までに各学部教授会で合否判定が行われた。」との説明があり、続いて三木文学部長が、資料 2-2（会議後回収）に基づき、「文学部日本語日本文学科は、30 名の募集人員に対して、117 名の志願があり、114 名が受験した。得点の上位 34 位までを合格としたい。英語英米文学科は、20 名の募集人員に対し、111 名の志願があり、103 名が受験した。得点の順位 23 位までを合格としたい。」との説明があった。

続いて、大和田環境共生学部長が、資料 2-2（会議後回収）に基づき、「環境資源学科は、15 名の募集人員に対して、58 名が志願し、56 名が受験した。得点の上位 17 位までを合格としたい。居住環境学科は、20 名の募集人員に対し、28 名が志願し、27 名が受験した。合格基準を満たした 21 名は第一志望で合格とし、環境資源学科から第 2 志望を居住としており合格基準を満たした 2 名を合格とし、23 名を合格としたい。食健康科学科は、28 名の募集人員に対し、112 名が志願し、105 名が受験した。得点の上位 31 位までを合格としたい。」との説明があった。事務局から「第二志望合格については、募集要項では定員未達の場合としておりますが、今回の居住環境学科の場合、22 位以下が合格基準に達していないため、辞退者を見込んで他の学科から合格者を出しても、居住環境学科の受験生側に不利益は生じないため、他の学科の合格基準に達した者を合格としたもの。」との補足説明があった。

続いて、松岡総合管理学部長が、資料 2-2（会議後回収）に基づき、「総合管理学科 A 方式は、30 名の募集人員に対し、115 名が志願し受験した。得点の上位 51 位までを合格としたい。総合管理学科 B 方式は、募集人員 60 名に対し、292 名が志願し受験した。得点の上位 144 位までを合格としたい。」

審議の結果、案のとおり承認した。

事務局から、合否判定結果を踏まえて、資料 2-1 に基づき、「本日午後 1 時から学内掲示及びホームページで合格者の発表を行う。3 月 8 日から 15 日までを入学手続き期間としている。また、3 月 28 日の午前 8 時から、今回の合格発表に伴い、入学手続きの結果、募集人員に達しなかった場合、国公立大学間の取り決めに従い、不合格者の第一位の者から順に本人へ電話連絡し、入学意思の有無を確認することによって、その場で追加合格者を決定し、募集人員に達するまでこの作業を行うこととしたい。結果については、本会議で

審議できないため、追加合格が出た場合には、4月の最初の教育研究会議で報告をするということをご了承いただきたい。」との説明があり、教育研究会議として了承した。

事務局から「平成22年度の合格者について、昨年度と比較すると全体として男子合格者の割合が若干減っている。志願者は県内生の割合が少し増えているが、合格者は県外生の割合が少し増えている。」との補足説明があった。

4 その他

次回日程の確認

第15回 3月15日（月）午後2時半～

第16回 3月21日（月）午前11時～